

2026（令和8）年度 埼玉医科大学中堅看護師研修『看護研究の実際』 研修プログラム

研修日時 研修場所	時間	形態	講師	研修内容	備考
8月4日(火) 9:00～10:00	1		看護リカレント 教育センター	開講式 オリエンテーション	研修期間中は、所属責任者へ進捗状況を随時報告し協力・指導を求める
10:10～12:10 13:00～16:10 看護リカレント教育 センター(B教室)	5	講義	秋山千恵子	1. 実践における看護研究の意義 2. EBN とは、EBN の現状 3. 研究倫理 4. 研究デザイン 5. 研究方法	各自が使用している看護研究に関する文献を持参する
8月10日(月) 13:00～14:30 短期大学 5階 PC室	1.5	講義	稲井洋子	1. 文献クリティークの意義 2. 文献クリティークの実際 (研究論文の書き方含む)	
14:40～16:10 短期大学 5階 PC室	1.5	講義 演習	田口宣行	3. 文献検索の方法	文献検索の方法を体験しながら学ぶ
8月17日(月) 9:00～16:10 看護リカレント教育 センター	6	講義 演習	椎橋実智男	1. 看護研究に必要な統計学 (聴講)	1) 看護研究で多く使われる統計手法の正しい活用法を学ぶ 2) 例題を演習する *パソコン持参 *参加者への配布ファイル(データ)
9月1日(火)～ *受講者が担当 講師と日程・ 場所を調整	1～4 回/月	演習	久保かほる 霜田敏子 今野葉月 瀧山文恵 鈴木夕岐子	1. 看護研究の中で疑問を明確にする 2. 研究計画書を作成する 3. 各施設の看護研究倫理審査を受ける 4. 計画書に基づいて実施し、データを分析する 5. 得られた成果を論文としてまとめる	1) スケジュール管理を主体的に行う 2) 受講者は講師と日程を調整し、積極的に指導を受ける 3) 看護経験の中で疑問が研究テーマとなり得るかを検討し研究目的を明らかにする 4) 文献検索・検討を行い研究背景・価値を検討し研究目的を明らかにする 5) 研究方法、倫理的側面を検討する 6) 研究計画書を立案する 7) 研究に関する各施設の条件を達成し、 看護研究倫理審査を11月までに 受けられるように準備する (研究倫理 e-ラーニングなど) 8) 計画に基づいてデータ収集する 9) 収集したデータを分析し結果を適切に読み取る 10) 結果を飛躍せずに考察する 11) 研究の限界を客観的にとらえ今後の課題を検討する 12) 中間情報交換会にて、他者との意見交換を通して研究内容を発展させる
令和9年 2月15日(月) 15:00～16:00 看護リカレント教育 センター	1	発表		1. 中間情報交換会 中間発表を行い、他者との意見交換を通して研究内容を発展させる	13) 論理的に研究論文を作成する 14) 研究計画書・論文作成とともにC以上の評価で修了認定される
6月24日(木) 12時までに提出				1. 論文、自己評価表、発表用パワーポイントを提出する	
7月3日(土) 9:00～12:00 看護リカレント教育 センター	2	発表	看護リカレント教育センター	1. まとめの発表会 得られた成果を発表し他者の講評を受けて研究内容を発展させることができる	1) まとめの発表会で発表後、 既存の学会で研究成果を発表 する 2) 他者評価を受けて課題を発展的に考える 3) 研究全過程を通して研究的態度を学ぶ
				修了式 アンケート	発表会後のレポート提出 提出日未定